

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	東名(仮称)駒門スマートICを拠点とした地域活性化を支援する道路整備				
計画の期間	平成28年度	～	平成31年度(4年間)	交付対象	御殿場市
計画の目標					

スマートICを整備しこれを拠点としたアクセス道路を強化する事による利便性の向上及び地域活性化を図る。

計画の成果目標(定量的指標)

- ・スマートICを利用する事ことにより、周辺工業団地への移動時間短縮。
- ・緊急患者の、市街大型病院への搬送時間短縮。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値 中間目標値 最終目標値

(H28当初) (H30末) (R2末)

- ① スマートICから、工業団地への移動時間の短縮
(移動時間短縮率%)
= (ΣスマートICからの移動短縮時間(分) / (Σ現況移動時間)) × 100
- ② スマートICから、市街大型病院までの移動時間の短縮
(移動時間短縮率%)
= (ΣスマートICからの移動短縮時間(分) / (Σ現況移動時間)) × 100
- ③

0% - 48%

0% - 37%

全体事業費 合計(A+B+C) 707百万円 A 707百万円 B 0百万円 C 0百万円

効果促進事業費の割合
C / (A+B+C)

0%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ

第2期(H20~H24)	第3期(H25~H29)
分野名 活力・交流	分野名 活力・交流(陸・海・空の交通ネットワークの拡充)
目標名 都市・地域交通の快適性、利便性の向上	目標名 道路網の強化
指標名 中心都市等への30分行動圏人口カバー率	指標名 中心都市等への30分行動圏人口カバー率
目標値(H24) #####	目標値(H29) 93.9%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))
(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄))

交付対象事業

A1 道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
											H28	H29	H30	R1				
90-A1	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(他)市道3697号線	延長 0.35 km	御殿場市					補助化	401	○	
90-A2	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(他)市道3698号線	延長 0.35 km	御殿場市					補助化	306	○	
											合計	707						

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗状況	備考
										H26	H27	H28	H29	H30			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・R2.3月開通の開通でSIC地区協議会では1年間の検証を行い指標の発表としている。現在検証中。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（スマートICから、工業団地への移動時間の短縮）	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値				
	指標②（スマートICから、市街大型病院までの移動時間の短縮）	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値				
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・近隣ICの渋滞緩和（SIC開通後の利用台数や、周囲交通量・渋滞調査による検証）				

3. 特記事項（今後の方針等）